

# さいたま市「次世代自動車・スマートエネルギー特区」指定申請概要

平成23年10月4日(火)  
記者発表資料 別紙1  
環境局環境未来都市推進課

## 【目的】

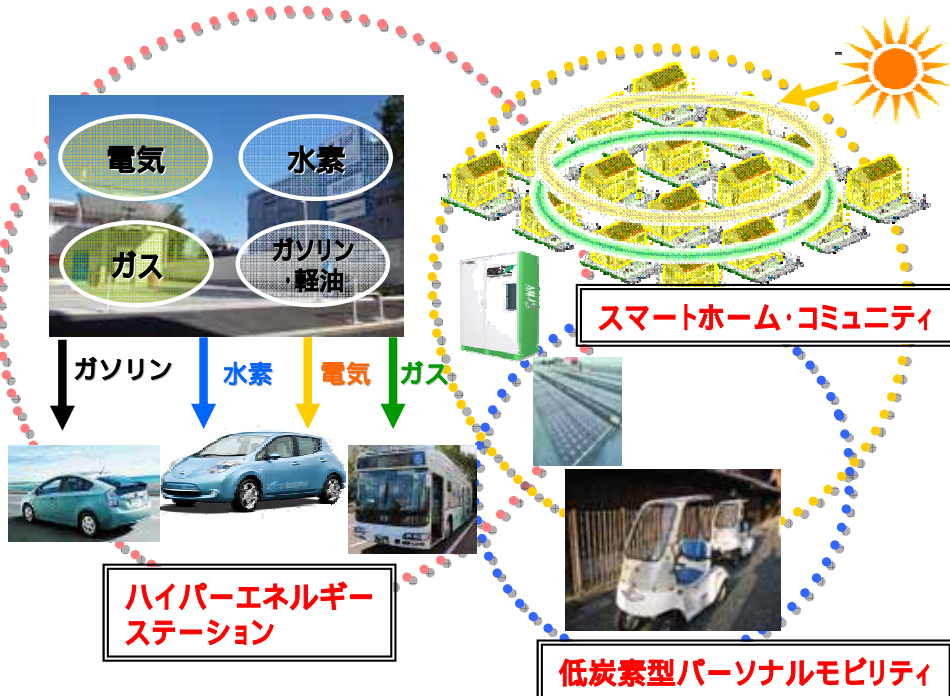
さいたま市が目指す「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する『環境未来都市』」の実現に向けて、国に対して必要な規制緩和や財政支援等を求めるため、特区の指定を申請する。

## 【申請イメージと3つのプロジェクト】

「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する『環境未来都市』」の実現に向けて、以下の3つの重点プロジェクトを推進する。

1. ハイパーエネルギーステーションの普及
2. スマートホーム・コミュニティの普及
3. 低炭素型パーソナルモビリティの普及

別紙2参照  
別紙3参照  
別紙4参照



## 【規制緩和・事業概要】

1. ハイパーエネルギーステーション関係法令の緩和  
対象地区: ハイパーエネルギーステーション整備予定地  
緩和を求める規制: 水素スタンドの整備に関わる規制等  
事業内容: 既存のスタンドに水素充填施設等を備えたハイパーエネルギーステーションを市内に4箇所整備
2. スマートホーム・コミュニティ関係法令の緩和  
対象地区: みそのウイングシティの土地区画整理事業地内  
さいたま市桜区上大久保140番の1  
緩和を求める規制: 地域でのエネルギー(電力)マネジメントに関わる規制等  
事業内容: 太陽光発電や燃料電池により発電した電力をEVや蓄電池を活用して効率的に使用するスマートホーム100戸程度のコミュニティを構築
3. 低炭素型パーソナルモビリティ関係法令の緩和  
対象地区: さいたま市全域  
緩和を求める規制: 新しいモビリティの公道走行等に関わる規制等  
事業内容: 産学連携による二人乗りのEV原動機付自転車の開発・普及

## 【市と国による支援等】

1. ハイパーエネルギーステーション設置支援  
市としてEV急速充電器の補助の拡充や新規の支援等を創設するとともに、国に対しても同様の制度創設や既存制度の拡充等を求める。
2. スマートホーム・コミュニティ整備支援  
市としてこれまで実施してきた太陽光発電システムや蓄電池に対する補助の拡充や新規の支援等を創設するとともに、国に対しても同様の制度創設等を求める。
3. 低炭素型パーソナルモビリティ開発等支援  
市として低炭素型パーソナルモビリティ研究・開発等についての支援制度等を創設する。

## 【申請から指定までのスケジュール】

9月30日	総合特区指定申請
11月中旬	2次評価までの結果の公表
12月下旬	特区指定

# ハイパーエネルギーステーション概要

平成23年10月4日(火)  
記者発表資料 別紙2  
環境局環境未来都市推進課

平成28年

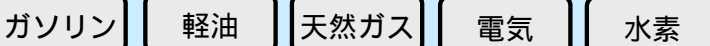
## ハイパーエネルギーステーション S<sup>☆</sup> (4箇所)

### 災害対応設備



水素

停電時も燃料供給可能



水素燃料電池自動車

FCVにも対応した、多様なエネルギーを供給でき、**災害時も燃料を供給**することが出来る「ハイパーエネルギーステーション S<sup>☆</sup>」を4箇所整備。

〈ユーザー〉

・**どんな燃料のクルマでも**、迷わず「ハイパーエネルギーステーション S<sup>☆</sup>」に行けばOK。



やっぱり「ハイパー」だね!

〈スタンド経営者〉

・エネルギーの集約により、経営コストを圧縮でき、**収益性UP**。



イメージ写真出典:水素供給・利用技術研究組合(HySUT)HP

## ハイパーエネルギーステーション (96箇所)

### 災害対応設備



電気

停電時も燃料供給可能



EVにも対応した、多様なエネルギーを供給でき、**災害時も燃料を供給**することが出来る「ハイパーエネルギーステーション」を96箇所整備。

〈ユーザー〉

・**どんな燃料のクルマでも**、迷わず「ハイパーエネルギーステーション」に行けばOK。  
(水素燃料電池自動車を除く)

〈スタンド経営者〉

・既存のステーションに、普及しつつあるEV用の充電器を設置し、**収益性UP**。

現在

## 既存のガソリンスタンド(約160箇所)



ガソリン車



天然ガス自動車

## 既存のEV用充電器(約50箇所)



電気



電気自動車(EV)

〈ユーザー〉

・自分が使うクルマの燃料に合ったスタンドを探さなければならぬ。



〈スタンド経営者〉

・バラバラに設置されていると人件費等、固定費が余計にかかってしまう。



イメージ写真出典:  
(左) <http://www.hedaunsousen.com/eneos.html>

系統電力

エネルギーのマネジメントによる  
徹底した低炭素化とエネルギーセキュリティ  
(太陽光発電・燃料電池の活用拡大)

一括受電

エネルギーマネジメント  
システム

(仮称)スマート  
コミュニティセンター

エネルギー  
一元管理

- ・カーシェア運営
- ・エリアマネジメント 等

コミュニティ内  
電力網

災害時等:EVの電力共有  
平常時:EVへ充電

地域で創ったエネルギーを  
地域で共有

発電



太陽光発電

発電



燃料電池

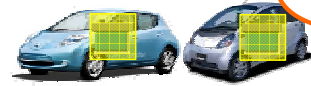
蓄電



電気自動車

各世帯でのエネルギーマネジメント

蓄電



カーシェアEV

発電



太陽光発電

地域で共有

EV  
充電した電気を  
コミュニティに供給

FCV  
充填した水素で発電し  
コミュニティに供給

ハイパーエネルギー  
ステーションから  
EV・FCVを活用して  
エネルギー供給

災害時等:  
コミュニティにエネルギーを供給

空っぽ

EV

FCV

ハイパーエネルギーステーション

水素

電気



災害対応設備

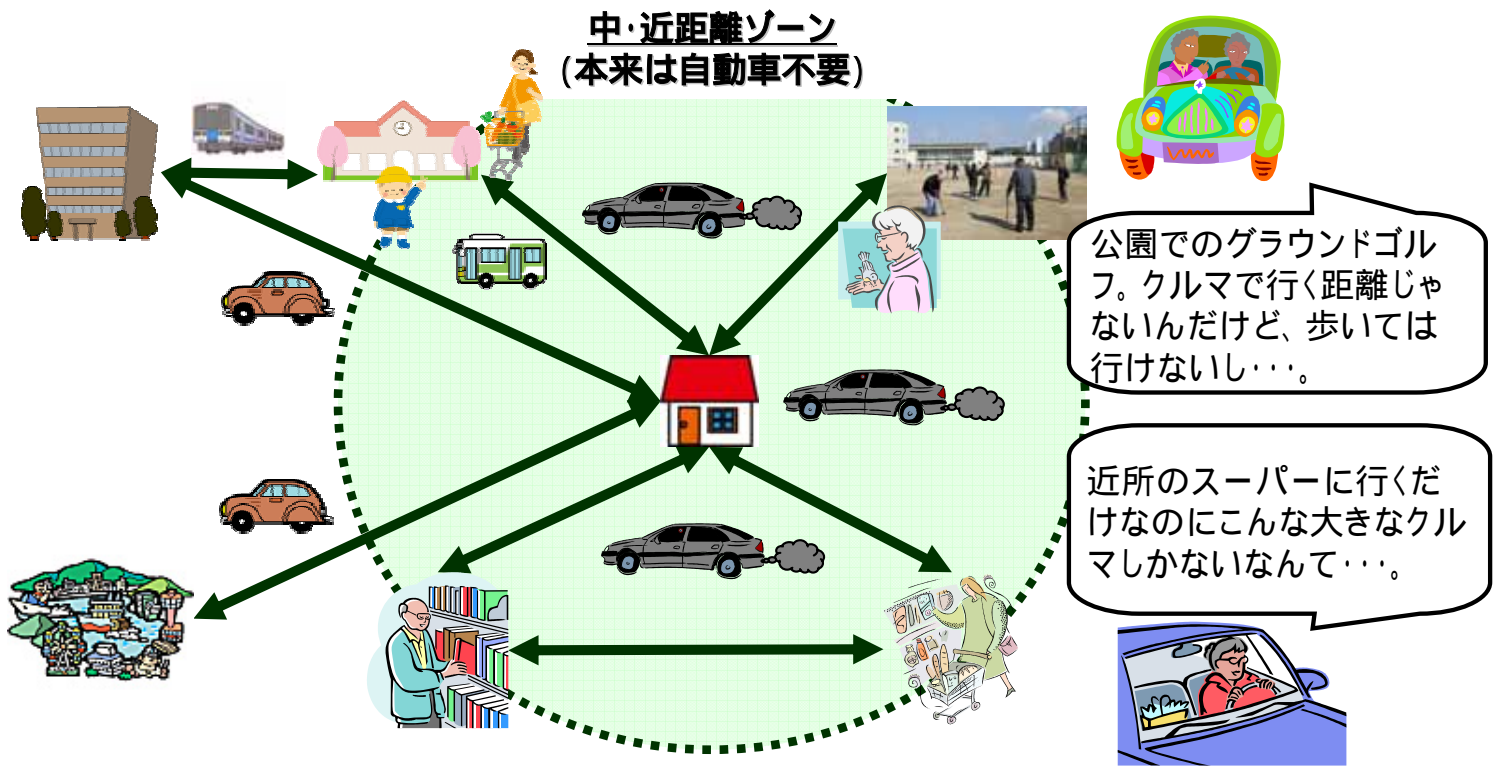
太陽光発電

蓄電池

発電機

## 現在

- 手軽で便利な移動手段がないため、**中・近距離の移動に自動車**を使うことが多い。
- 特に高齢者や子育て世代は移動の自由が限られており、**交通事故リスク**や、家計負担増などの不利益を受けながらも自動車を使用。**不必要な環境負荷**をかけているという点で、社会的な損失でもある。



## あるべき未来

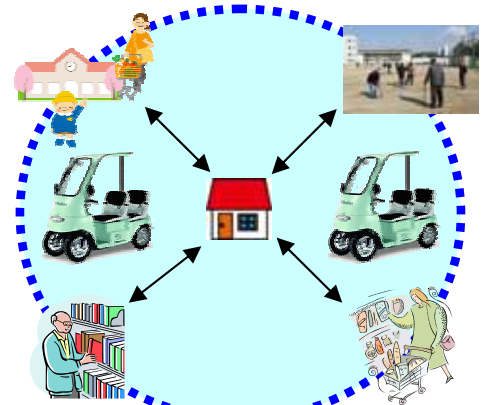
- 例えば公共交通の結節点までの、中・近距離の移動に適したパーソナルモビリティの普及が望ましい。
- 環境負荷の少ない、低炭素型のモビリティの普及が望ましい。

**手軽に乗れ、使い勝手の良い低炭素型パーソナルモビリティの普及を進めたい！**

(例：2人乗りEV原動機付自転車等)



(例えば…)  
EV原動機付自転車に  
座席を設け2人乗り  
に改造



中・近距離は低炭素型パーソナルモビリティだけでOK



報道機関 各位

**記者発表資料**

平成23年10月24日(月)

問い合わせ先：環境未来都市推進課

担当：千枝、中山、星野

電話：829-1457

内線：3148

「第2回 E-KIZUNA サミット・フォーラム in さいたま」の開催について

本市では、電気自動車（EV）の普及を目的として、「第2回 E-KIZUNA サミット・フォーラム in さいたま」を開催します。

1 趣旨

EV普及に取り組む自治体、企業間ネットワークをより多元的で広域的なものとし、我が国の優れた環境技術の発展に寄与するとともに、持続可能な低炭素社会の実現を目指す。

また、東日本大震災後の状況を踏まえ、エネルギーセキュリティや地球温暖化対策推進の観点から、多様なエネルギーの活用やEVの可能性などについて検討する。

2 日時 平成23年11月15日(火) 10時～17時30分

フォーラム 10時～14時40分

サミット 15時～17時30分

3 会場 ホテルブリランテ武蔵野(さいたま新都心)

4 内容

フォーラム 参加自治体などによる先進事例の発表など

サミット 「多様なエネルギーの活用と電気自動車（EV）について」をテーマに、自治体・企業の首脳、国による意見交換及び宣言の取りまとめ

会議の様子は、後日、「E-KIZUNA.net」を通じ、動画映像等の配信を予定

5 参加団体(2県21市区12社)

自治体 埼玉県、神奈川県、青森市、弘前市、盛岡市、仙台市、つくば市、宇都宮市、前橋市、高崎市、千葉市、千代田区、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市、新潟市、甲府市、長野市、松本市、浜松市、さいたま市



企業 日産自動車、三菱自動車工業、本田技研工業、トヨタ自動車、イオンリテール、NTTデータ、JX日鉱日石エネルギー、住友三井オートサービス、東京電力、ヤマダ電機、カルソニックカンセイ、クラリオン

6 「第2回 E-KIZUNA サミット・フォーラム in さいたま」イベント

日時 平成23年11月12日(土)、13日(日)

i-REAL (アイリアル) 試乗のみ 11日(金)~13日(日)

11日及び12日 10時~18時 (EVは16時まで)  
13日 10時~16時

会場 さいたまスーパーアリーナ (コラボさいたま2011会場) 及びさいたま新都心駅東西自由通路

内容 「電気自動車 (EV)・燃料電池車 (FCV) & パーソナルモビリティ」  
試乗会

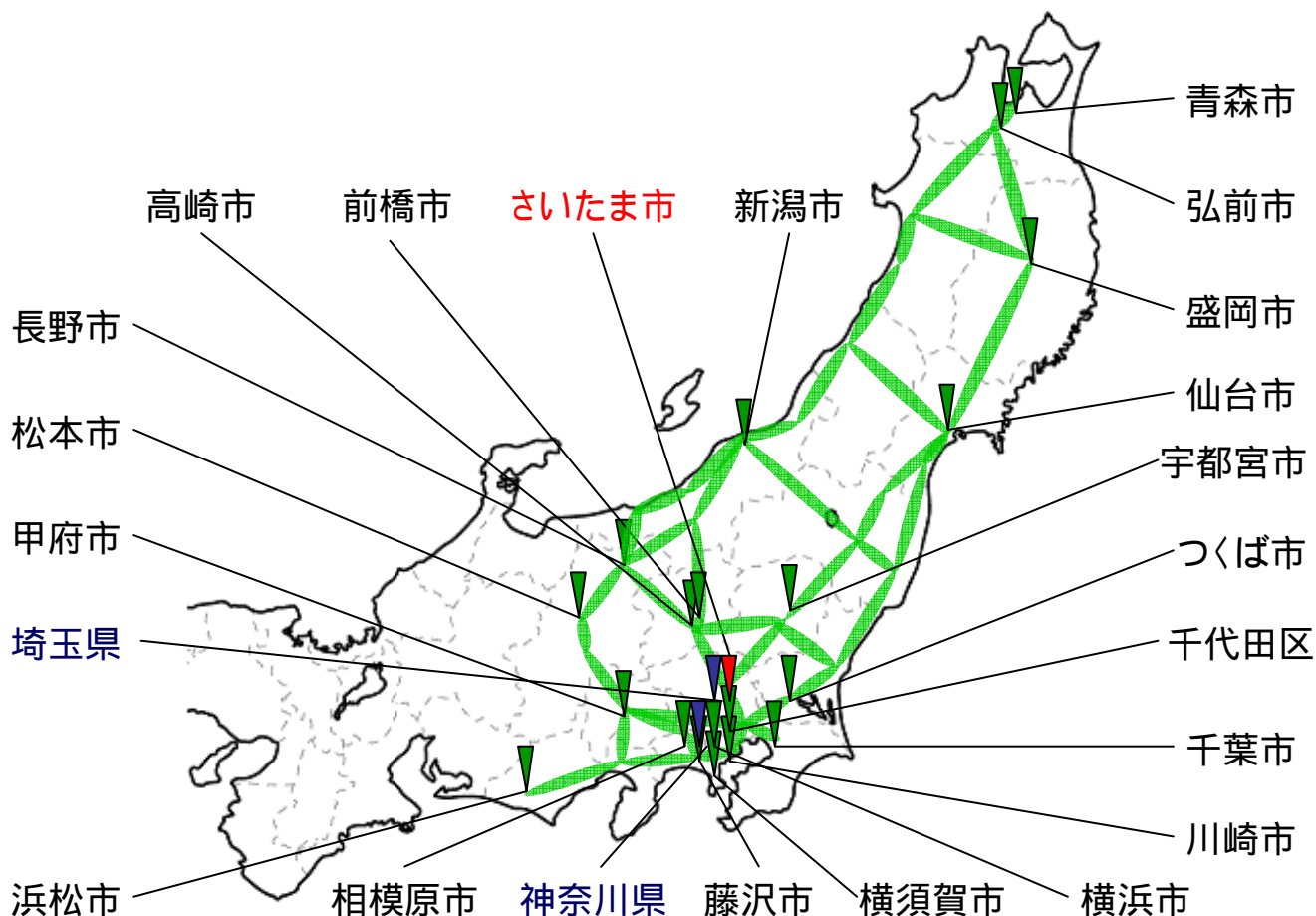
(EV・FCV)

- ・日産自動車製 「リーフ」
  - ・三菱自動車製 「ミニキャブミーブ」
  - ・トヨタ自動車製 燃料電池車 (FCV) 「トヨタ FCHV-adv」
- (パーソナルモビリティ)
- ・トヨタ自動車 「i-REAL (アイリアル)」
  - ・住友三井オートサービス 「Segway (セグウェイ)」



# 第2回E-KIZUNAサミット・フォーラムinさいたま 参加予定団体 (H23.11.15)

## 参加予定自治体(2県21市区)



## 参加予定企業(12社)

- ・ 日産自動車株式会社
- ・ 三菱自動車工業株式会社
- ・ 本田技研工業株式会社
- ・ トヨタ自動車株式会社
- ・ イオンリテール株式会社
- ・ 株式会社NTTデータ
- ・ JX日鉱日石エネルギー株式会社
- ・ 住友三井オートサービス株式会社
- ・ 東京電力株式会社(チャデモ協議会)
- ・ 株式会社ヤマダ電機
- ・ カルソニックカンセイ株式会社
- ・ クラリオン株式会社